

依史子先生著『私の歩んだ道』を基に 全学で「人間共生論」を必修化

文京学院では、自校教育の一環として、全新生に創立者・島田依史子先生の『私の歩んだ道』を配布。さらに、全学で「人間共生論」を必修としています。そこには本学の「自立と共生」の精神と「誠実・勤勉・仁愛」の校訓を体得することで、文京学院生として「自らのアイデンティティ（主体性）と誇り」を育み、社会に貢献できる人間に育ててほしいという願いが込められています。



創立者・島田依史子先生

例えば、島田学園長の授業後のアンケートでは、この本を読んだ男子学生から「私の人生の教科書」との感想が書かれ、男女を問わず「人間の生き方」として学生の心に刻み込まれていることが判ります。また、依史子先生が実践された「自分の足で歩き、自分の目で見て、自分の頭で考える」行動により、真実を的確に判断する力が身につくこと、人に信頼される人間になって初めて物事が動き出すこと、その信頼は「自分で築く」ことなど、生きていく上での大切なポイントを、学生たちはきちんと学び取っています。

この本により、「文京学院で学ぶことの意味」を理解した学生たちが、「文京生としての自覚・誇り」に目覚めた様子が、どのアンケートからも初々しく感じ取れます。「教育力日本一」を目指す本学の教育は、このように精神面から育まれていきます。本学の特色である「教職員と学生が大変近い関係」を保ちつつ、2年後、4年後の学生の成長を楽しみに、教職員一同、全力でバックアップしています。